

題材名「元寇と鎌倉幕府の滅亡」

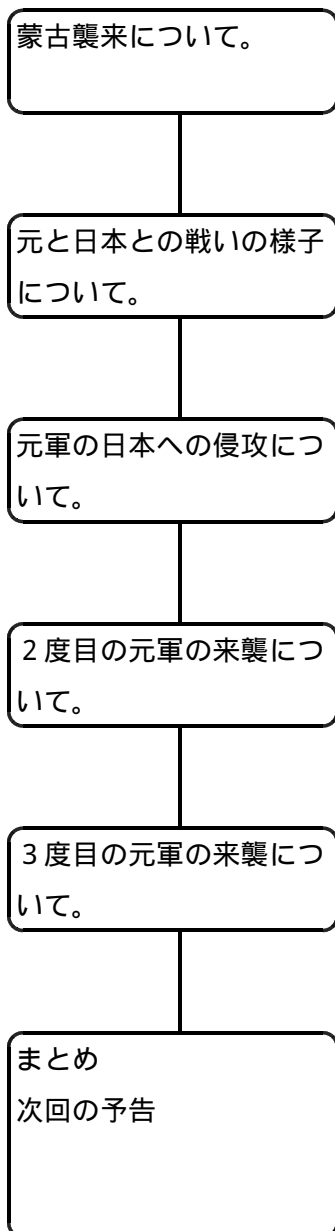
目 標

・ユーラシア大陸でのモンゴル帝国の成立から、2度にわたる元寇と日本の対応についてとらえ、日本が元軍との戦いに苦戦したことや、巨大国家に日本が勝てた理由を考え理解する。

コンピュータを活用する利点

二度目の元寇に備えて作られた石累は、Google EARTHの映像を見ればたちどころに理解することができる。黒板と教科書だけを使った授業は関心を引きにくいですが、コンピュータを利用することで、一度小学校で習ったことでも、生徒はまた新たな気持ちで学習することができる。

授業の流れ



ICT 活用場面

「蒙古襲来について」では、NHKのサイト「にんげん日本史」より、蒙古襲来の映像をパソコンからプロジェクターを使ってスクリーンに映し、生徒に提示した。

「元と日本との戦いの様子について」では、蒙古襲来絵詞をスキャナーでパソコンにとりこみ、パソコンからプロジェクターを使ってスクリーンに映し、生徒に提示した。また、アクティブスタジオ上に映像を添付して、拡大したり、必要箇所に書き込んだりした。

「元軍の日本への侵攻について」と「2度目の元軍の来襲について」では、Google EARTHで見つけた博多湾の映像をパソコンからプロジェクターを使ってスクリーンに映し、生徒に提示した。Google EARTHの映像で、石累の規模を確認させた。

その後は終了まで、授業で使用したプリントをパソコンにとりこみ、パソコンからプロジェクターを使ってスクリーンに映し、生徒に提示した。また、アクティブスタジオ上に映像を添付して、拡大したりした。

成果と課題

普段、授業に参加しない生徒でも、コンピュータを使った授業をすることで、生徒の興味・関心を引き起こすことができた。また、授業後の反応を見ても、学習内容を生徒に強く印象付けることができた。

しかし、機器の目新しさは使用とともに薄れるため、今後継続して使おうと考えると、導入の動機付けで使うだけでなく、授業の自然な展開の中で、必然性のある使い方を考えるべきである。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	アクティブボード一式（パソコン、プロジェクター含む）
使用ソフト名	アクティブスタジオ internet explore, google earth
使用教室	1年2組教室